

中高生海外派遣代替事業報告書

南那須中学校 2年

氏名： 土居 明夫



私は、2月17日から20日の4日間、『パスポートのいない英国，ブリティッシュヒルズ』に滞在しました。レッスンをしていただいた先生全員が外国の方で、様々な国の人と交流できてとても貴重な体験ができました。

ブリティッシュヒルズに着いてからパスポートコントロールをしてマナーハウス内の説明がありました。2階のライブラリーの特殊な椅子の説明や木の彫刻のデザインの説明などがありました。あとは、食事をするリフレクトリーへの案内やレッスンで使う部屋の説明をしてくださいました。

自由参加のチャレンジでは、他の学校の生徒も参加していてより多くの人と交流することができました。



中高生海外派遣代替事業報告書

2日目の英語でのテーブルマナー講座では、ナイフやフォークを使う順番やどんな行動がグッドマナーなのか、英語の説明を聞いて理解することができました。



その後のコースディナーでは、初めての経験で緊張しましたが、講座で教わったマナーを思い出しながらコースディナーを楽しみました。



1日の最後のフリータイムでは、パブに行ったり、体育館で体を動かしたりしてみんなの好きな時間を過ごしました。



私は、体育館で卓球をしたり
宿舎のラウンジで友達と話しながら
ゆったりとした時間を過ごしました。

3日目のブリティッシュフェスティバルのレッスンでは、イギリスで有名なお祭りについて学びました。何月にどんなお祭りが行われているのか学びました。他にもイースターという祭りを実際に体験しました。

レッスン後には先生が、英語を学んでおけば、何かという時に役に立つし、英語を使えることで、自分の将来の選択肢も広がるとおっしゃっていました。

英語の歌、英語の映画、Youtubeを英語字幕で見るなど普段から英語を聞いたりすると自然に英語が話せるようになってくると。

先生の友達は、日本語は日本の漫画で覚えたそうです。



中高生海外派遣代替事業報告書

最終日のレッスンでは、「Science Challenge」を行いました。

チームの人と話し合っ、限られた時間、限られたお金、限られた材料で卵を割れないように着地させるためのパラシュートを作成しました。

どのような形のパラシュートを作るのか、どの材料をいくつ買うのか、どこを改善すればより安全に着地出来るのか、これら全て英語で話し合いました。

うっかり日本語を使ってしまいそうな時もありましたが、「How〜？」や「Which〜？」

「More〜」などを使ってうまく会話することができました。

その上で、全チーム、卵を無事に着地出来たので良かったです。



全レッスンを終え、この4日間で学んだこと、楽しかったことを話しながら、最後の昼食の時間を楽しみました。

最後のクロージングセレモニーでは、4日間で一番楽しかったレッスンについてや、このブリティッシュヒルズにまた来たいか？などの話を先生としました。

この事業に参加して、普段の生活では絶対に出来ない経験をする事ができました。

将来、英語で会話できる大人になるための1つの経験を積むことができました。

実際に英語で会話を続ける難しさにも気づきました。学校の授業や自分の知識としてある英単語、文法だけでは全く会話できないことを改めて知らされました。

普段何気なく日本語で会話しているときの言葉が全く英語で話せませんでした。

これからの目標として、英語の授業や英語を使う場面が来たら、日本語を全く使わずとも会話が成立することを目指して英語の勉強に励んでいきたいと思ひます。

